

○ 令和3年度事業報告書
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1 協会の概要、組織等

(1) 協会の概要

当協会は、関東及び静岡県沿岸海域において、モーターボート、ヨット、遊漁船、瀬渡船等レジャー用小型船に対する海難防止活動を実施するとともに、運航マナーの向上を図ることにより、安全で秩序ある海洋レクリエーションの普及と発展に寄与することを目的として、事業計画及び収支予算に則り事業活動を行っている。

(2) 組織

① 役員 (令和4年3月31日現在)

理事 16名 (常勤1名)
 監事 2名
 顧問 1名
 相談役 3名

② 職員 3名

③ 事務所 〒231-0011 神奈川県横浜市中区本町4-43 A-PLCE 馬車道
 TEL 045-201-7754 Fax 045-201-7758

④ 会員の状況(令和4年3月31日現在)

会員の種別	前年度末	入会	退会	増減	現在数
団体会員	50	0	2	-2	48
個人会員	693	21	56	-35	658
賛助会員	36	0	0	0	36
合計	779	21	58	-37	742

⑤ 海上安全指導員及びパトロール艇の状況(令和4年3月31日現在)

区分	前年度末	新規指定	指定取消	増減	現在数
海上安全指導員	300	10	16	-6	294
安全パトロール艇	128	6	5	+1	129

2 事業報告

(1) 理事会、総会

① (みなし理事会)

令和3年4月21日(提案日 令和3年4月13日)

- ・令和2年度事業報告及び収支決算報告の承認に関する件
- ・令和3年度通常総会の開催の件

② (理事会)

令和3年度第1回理事会(令和3年5月26日開催)

- ・役員改選の件
- ・報告事項:現在までの職務の執行状況について
- ・その他

令和3年度第2回理事会(令和4年3月9日開催)

- ・令和4年度事業計画書及び収支予算書の承認に関する件
- ・令和4年度通常総会開催日承認のためのみなし理事会開催の件
- ・報告事項
 - ①令和4年2月28日現在の令和3年度事業概要及び収支決算概要について
 - ②マリンコンパス事業及びボートクルーシマンシップマニュアル事業について
 - ③小安協の海岸局について
 - ④その他:現在までの職務の執行状況について

③ (総会)

令和3年度通常総会(令和3年5月26日開催)

- *令和2年度事業報告及び決算報告の承認に関する件
- *令和3年度事業計画及び収支予算の承認に関する件
- *役員改選の件
- *報告事項
 - ・マリンコンパス事業に関する件
 - ・ボートクルーシマンシップマニュアル事業に関する件
 - ・寄付金に関する件
 - ・その他

(2) 各種委員会への参加

事務局	委員会等名称	出席者	回数
国土交通省関東運輸局	関東地区舟艇振興対策連絡会議	事務局長	(1)
横浜市	放置自動車及び沈没船に関する廃物判定委員会	事務局長	3
(公社)日本海難防止協会	海運・水産関係連絡会議	会長	(1)
	全国海難防止団体等連絡調整会議	会長他	(1)
東京湾海難防止協会	東京港中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル船舶航行安全対策検討調査委員会	会長	2 (1)
	川崎港臨港道路航行安全検討委員会	会長	1 (1)
	新海面処分場建設工事等船舶航行安全対策検討委員会	会長	2 (1)
	新海面処分場建設工事等船舶航行安全協議会	専務理事	1 (1)
横浜港ボート天国推進連絡協議会	海の安全運動推進連絡会議	事務局長	(1)
	横浜港ボート天国推進連絡協議会総会	事務局長	中止
(公財)海技資格協力センター	横浜港ボート天国実行委員会	事務局長	1
	評議員会	会長	(2)
東京都	東京港水域利用調整協議会	会長	(2)
	目黒川航行マナー向上委員会	事務局長	1 (2)
J B W S S 連携協議会	J B W S S 共催団体会議	会長	(1)
合 計			26 回

()は web 開催又は書面決済となった会議

(3) 海の安全運動

年間を通じた運動から、海難の発生状況に応じて対象と目的を定めてキャンペーンを展開することとなった。

実施期間	内 容	重点事項
令和3年5月11日～5月31日	霧海難ゼロキャンペーン	視界制限時における海難防止
令和3年6月10日～6月30日	台風海難ゼロキャンペーン	台風等荒天時における海難防止
令和3年4月17日～5月6日	春の事故ゼロキャンペーン	プレジャーボートの海難防止 マリンレジャーにおける海難防止
令和3年7月16日～8月31日 令和3年7月16日～7月31日	夏の事故ゼロキャンペーン 海の事故ゼロキャンペーン	一般船舶及びプレジャーボートの海難防止 マリンレジャーにおける海難防止
令和3年10月1日～10月10日	秋の事故ゼロキャンペーン	プレジャーボート及び遊漁船の海難防止 マリンレジャー（釣り中）における海難防止

(4) 海上安全活動（公益目的事業1-1）

① 海上安全指導員連絡調整会議

新型コロナ対策による会合等の自粛要請により、各支部で計画されていた連絡調整会議は中止又は延期が多かった。

月	支部別	開催場所	参加人数
4	千葉支部	千葉海上保安部	16名
7	茨城支部	茨城海上保安部	7名
10	千葉外房	銚子マリーナ会議室	6名
合計	3回		19名

② 海上保安官と海上安全指導員との合同パトロール

各支部会員、安全パトロール艇を使用して海上保安官との合同安全パトロールを実施、救命胴衣の着用やパンフレットを配布して航行の安全、海難防止等を指導した。

実施日	支部別
4月24日	横須賀
5月3日	外房（銚子）
7月10日	千葉（浦安、船橋）
7月18日	横浜
7月22日	外房（銚子）
10月9日	千葉（木更津）
12月25日	千葉（浦安、船橋、木更津）
合計	7回

③ 海上安全指導員によるパトロール活動状況

令和3年1月～令和3年12月の間、海上安全指導員による小型船舶安全確保のため実施した活動状況

担当海上保安部署	安全パトロール		訪船指導		安全教育	安全啓発	訓練参加 (行事を含む)	海難救助
	指導隻数	指導人数	指導隻数	指導人数				
茨城	9	15	24	36	0	2	0	0
銚子	35	40	15	17	2	6	0	0
勝浦	5	12	24	39	2	11	2	0
千葉	25	38	59	36	6	8	3	0
木更津	1	2	15	16	1	16	0	0
東京	154	169	44	60	20	8	0	1
横浜	170	274	60	111	9	24	16	5
横須賀	597	648	214	316	9	25	54	14
下田	291	572	62	111	12	14	8	0
清水	89	187	103	342	0	2	1	0
御前崎	239	118	453	60	21	55	24	10
計	1615隻	2075人	1073隻	1144人	82回	171回	108回	30回

- ④ マリンコンパス（情報通信技術（ICT）を活用した小型船舶の動静等情報把握）の普及協力
- ⑤ 「Boat Crew Seamanship Manual」の普及推進

(5) 海上安全講習会等（公益目的事業1-2）

① 各支部海上安全講習会

新型コロナ対策によるイベント等の自粛要請により、各支部で計画していた海上安全講習会は殆どが中止又は延期となり、開催は二か所のみであった。

	支 部	開催場所・事業所名	参加人数
4月	横須賀	ヴェラシスマリーナ	20名
7月	千葉	千葉ホーショヨットクラブ	15名
合計		2回	35名

② 無線従事者養成課程講習及び航海実技講習

イ 船舶共通通信システムが整備され、国際 VHF 需要の高まりにより、これを促進するため無線従事者資格養成課程講習を開催している。

ロ 海技免状を取得して間がない方、航海の経験が無い方等を対象に、実習船を使用して東京湾内を航海して実技講習を開催している。

講 習 名	実施日・場所	受講者
無線従事者資格養成課程講習	6月12日・13日（横浜2日間）、7月10日・11日（横浜2日間）、9月12日（沼津）、10月10日・11月14日（東京）、12月4日・5日（横浜2日間）、1月8日・9日（横浜2日間）、2月6日・27日（横浜）	154名
合計	9回	154名
航海実技講習（夜間）	4月23日、5月21日、6月18日、7月9日（東京港）	19名
航海実技講習（昼・夜間）	10月16日、10月30日（東京港）	8名
合計	6回	27名

(6) 広報活動（公益目的事業1-3）

- ① 横浜ボートフェア 2021（10月22日～24日）に参加。会場において、チラシ、パンフレット等を配布して、海の安全確保について広報活動した。
- ② 当協会会報誌「小安協ニュース」を6月、2月の2回発行
- ③ インターネットを利用し、ホームページ（<https://www.shoankyo.or.jp>）にて航行の安全、海難防止などの情報を発信した。

(7) 無線電話運用の確立と普及活動（公益目的事業1-4）

- ① 国際 VHF 海岸局の機能強化（木更津、夢の島、横浜、湘南、熱海地域に安心サポートシステムの導入）
- ② 国際 VHF 利用者の増加を図るため、無線活用方法等について周知活動を実施し、普及・促進に努めた。

(8) 安全で秩序ある海洋レクリエーションの普及と促進（公益目的事業2-1）

新型コロナ対策によるイベント等の自粛要請により、各地のイベントはすべて中止又は延期となり、今年度の活動については報告がありませんでした。

(9) イベントへの協力（公益目的事業2-2）

① 東京2020オリンピックセーリング競技大会競技会場警戒協力

2021年7月24日～8月5日までの13日間に渡り海上安全指導員等38名が警戒に協力し無事終了することが出来た。東京2020オリンピック・パラリンピック組織委員会橋本聖子会長から協会宛感謝文を受領した。

② その他（支部活動報告）

月	支部別	協力イベント
4	伊豆	海上花火大会（熱海）
5	伊豆	海上花火大会（熱海×2）
6	伊豆	海上花火大会（熱海×3）
		熱海市上多賀付近ミニボート乗り上げ救助
7	伊豆	伊豆山土石流災害に伴う海上捜索
8	伊豆	熱海市泉千歳川河口漂流者救助支援
		海上花火大会（多賀、網代）
		初島救急搬送×3
9	伊豆	熱海市魚見崎沖漂流者捜索（誤報）
10	伊豆	海上花火大会（熱海×2）
		あたま防衛防災フェスタ出展
		初島救急搬送×2
11	伊豆	熱海市錦ヶ浦投身情報捜索
		海上花火大会（熱海×4）
		初島救急搬送
12	伊豆	海上花火大会（熱海×4）
R4/1	伊豆	海上花火大会（熱海×2）
2	伊豆	伊豆山土石流災害に伴う海上捜索・パトロール
3	伊豆	伊豆山土石流災害に伴う海上捜索（警察協力）
合計		34回

その他の各地イベント等にあつては、新型コロナ対策による自粛要請により、すべて中止又は延期となり、今年度の活動については報告がありませんでした。